

一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸
2026年度 第1回 キャリア委員会 議事録

日時：2026年4月30日（木）15:00～16:46

場所：神戸学院大学 ポートアイランド第1キャンパス D号館3階 アクティブスタジオ

出席校：【委員長】	神戸学院大学	井上キャリアセンター所長
【副委員長】	関西福祉大学	立川課長代理
	甲南女子大学	三宅キャリアセンター長
	神戸国際大学	田辺氏（代理）
【委員】	芦屋大学	吉岡課長
	大手前大学、大手前短期大学	久保室長
	関西国際大学	高橋副課長（代理）
	関西学院大学、関西学院短期大学	小浪キャリアセンター長
	関西学院大学、関西学院短期大学	松本キャリアセンター副長
	甲南大学	平野所長
	甲南大学	天羽次長
	甲南女子大学	松井キャリアセンター事務部長
	神戸大学	田中政策研究職員
	神戸学院大学	岸本グループ長
	神戸市外国語大学	石川所長
	神戸松蔭大学	作田センター長
	神戸親和大学	實安主任（代理）
	宝塚医療大学	山口准教授（代理）
	宝塚医療大学	有澤特任教授（代理）
	兵庫県立大学	片山就職支援コーディネーター（代理）
	流通科学大学	竹田次長
陪席：	兵庫県 総務部教育課	笹倉班長
	神戸学院大学	住本事務部長

（コンソ事務局：鈴木、園田）

I. 報告事項

1. 2026年度キャリア委員会委員校について (資料1)
2. ひょうご留学生インターンシップ2026について (資料2)

II. 協議事項

1. 2026年度キャリア委員会事業計画（案）について (資料3)
 - ① 「兵庫県」大学連携組織を活用した県内大学生の地元就職促進プロジェクト
 - ② 県内企業への就職率向上促進プログラム
 - ③ 県内企業・団体等の魅力を情報発信
 - ④ ひょうご留学生インターンシップ
 - ⑤ 「尼崎市」留学生向けインターンシップ（インターンシップ等推進事業）
 - ⑥ 「兵庫県」外国人留学生採用ワンストップ支援事業

III. 懇談事項

1. 「大学連携組織を活用した県内大学生の地元就職促進プロジェクト」について (資料4)
2. その他

IV. 連絡・調整事項

1. 2026年度定時総会について

- ・日時：6月1日（月）15時00分～16時30分
- 2. 2026年度キャリア委員会の開催予定と主な議題について
 - ・第2回（9月）：2026年度タイプ3プラットフォーム型申請に向けた実績と自己評価（案）
について
 - ・第3回（12月）：2026年度事業自己評価（案）について
 - ・第4回（翌2月）：2027年度事業計画・予算（案）について
 - ・第5回（翌3月）：2026年度事業報告・決算について
- 3. 「大学コンソーシアムひょうご神戸設立20周年記念式典・懇親会」について

以上

<資料一覧>

- 【報告事項1】資料1-1：2026年度キャリア委員会名簿
- 【報告事項1(参考)】資料1-2：事業委員会の運営に関する申し合わせ
- 【報告事項2】資料2-1：【加盟校向け】ひょうご留学生インターンシップ実施マニュアル
- 【報告事項2】資料2-2：ひょうご留学生インターンシップ受入企業について
- 【協議事項1】資料3-1：2026年度キャリア委員会 事業計画 詳細（案）①～⑥
- 【協議事項1(参考)】資料3-2：2026年度キャリア委員会 事業予算
- 【協議事項1】資料3-3：尼崎市インターンシップ等推進事業委託仕様書
- 【協議事項1】資料3-4：「兵庫県」外国人留学生採用ワンストップ支援事業チラシ
- 【懇談事項1】資料4-1①：R8地元就職促進事業仕様書
- 【懇談事項1(参考)】資料4-1②：第5回キャリア委員会 議事録
- 【懇談事項1】資料4-1③：2023～2026年度企業課題解決プログラムの実績について
- 【懇談事項1】資料4-1④：2025年度_テーマ型企业理解プログラム
- 【懇談事項1(参考)】資料4-2①：2025年度兵庫県受託事業「大学連携組織を活用した県内
大学生の地元就職促進プロジェクト」仕様書・報告書
- 【懇談事項1(参考)】資料4-3②：2025年度尼崎市「インターンシップ等推進事業」仕様書
・報告書
- 【懇談事項1(参考)】資料4-3③：2025年度兵庫県受託事業「外国人留学生採用ワンストップ
支援事業」仕様書・報告書

【I. 報告事項】

- 1. 2026年度キャリア委員会委員校について (資料1)
鈴木次長より、資料1に基づき、今年度の委員校について紹介があった。続いて、各校より自校紹介を兼ねて、キャリアに係る自大学の取組および課題等について共有があった。

- 2. ひょうご留学生インターンシップ2026について (資料2)
園田事務局員より、資料2-1～資料2-2に基づき、2026年度ひょうご留学生インターンシップについて報告があった。

【II. 協議事項】

- 1. 2026年度キャリア委員会事業計画（案）について (資料3)
鈴木次長より、資料3-1～資料3-4に基づき、2026年度の事業計画（案）について説明があり、全員異議なく承認された。

【III. 懇談事項】

1. 「大学連携組織を活用した県内大学生の地元就職促進プロジェクト」について (資料 4)

鈴木次長より、今後の「大学連携組織を活用した県内大学生の地元就職促進プロジェクト」の懇談をするにあたり、背景と課題について以下のような説明があった。

- ・今回の懇談は、兵庫県受託事業「学生への情報発信力強化における、県内企業経営者・若手社員等との取組紹介と意見交換会」で、どのような取組を実施するかを検討するもので、昨年 2025 年度の第 5 回キャリア委員会の継続テーマである。
- ・2025 年度の第 5 回キャリア委員会では、①2 年生向けに早期接点をつくる必要性と段階設計の重要性 ②集客改善には時期・参加企業・授業連携・課題解決要素が有効 ③対面参加の心理的負担を踏まえオンライン併用を検討すべきという意見があった。これらの意見のうち、開催時期やオンライン化などは就活セミナーで改善可能であり、それ以外の点を 2027 年度以降の受託事業にどう反映するかを今回グループワークで懇談することとする。
- ・グループワークのテーマは「兵庫県の受託事業における学生に対する取組、県内企業経営者・企業若手社員等による取組紹介と意見交換会の枠での、『授業やゼミと企業が連携したプログラム』の実施方法について (2027 年度以降～)」とし、既存の「企業・自治体課題解決プログラムー共創 CAMPUSー」「テーマ型企业理解プログラム」をベースに、実施方法のアイデアを求めた。また、提案内容はキャリア委員会事業に限らず、兵庫県の受託事業の趣旨に沿うことを優先する。
- ・兵庫県総務部教育課笹倉班長より、学生の企業の理解をより深めるための兵庫県の事業改善レビューでも「企業エントリーに繋がる取り組み」「ハードルの低い企業接点づくり」「先輩との交流機会」が必要との指摘があるとの説明があった。

懇談後、井上委員長より、今回の提案内容を 2027 年度からの「中長期計画Ⅲ期」における理事会での議論も見据え、正副委員長校および事務局にて方向性を整理した上、キャリア委員会にて共有するとの説明があった。

<主な意見>

- ・企業・自治体課題解決プログラムー共創 CAMPUSーについて
 - 「企業 | 社 × 複数大学・複数ゼミ」の合同形式にすることで、多様な大学や視点を取り入れた課題解決が可能になると思われる。
 - 1 つのゼミ内で複数チームを編成し、複数企業に対応する方式にすることで、効率的かつ実践的な課題解決プロセスを経験できるのではないか。
 - 文学部など企業連携に不慣れな学部でも参加しやすいよう、モデルケースや導入ルートを整備することで参加の裾野を広げられると思われる。
 - プログラム期間を「10～1 月の約 3 ヶ月」などに調整することで、学生が参加しやすいスケジュールになるのではないか。
 - 「低学年向け PBL・産学連携の一つ」として位置づけることは、大学側にも導入しやすく、学生の負担も軽減できる。また、企業との長期的な関係構築がしやすくなり、学年交代による断絶も起きにくくなるのでよいと思われる。
- ・テーマ型企业理解プログラムについて
 - 4 日間拘束はタイパ重視の学生には長く感じられると思う。短期・高効率 (タイパ重視) 型に再設計することで学生の参加を促進できる。
- ・学生参加者の増加について
 - 学生には「選考 | 次免除」など、参加価値が明確に伝わるインセンティブを設定すると効果が高まるのではないか。
 - 学生が企業そのものに興味を持てるよう、企業魅力の伝え方や接点づくりを工夫することで、参加動機を高められるのではないか。
 - 留学生向けには、日本人学生とは別枠で参加しやすい合同プログラムを設けると効果的である。

- ・低年次生の参加について
 - 2年生のゼミがない大学にも対応できるよう、ゼミ以外の授業・課外活動から参加できる仕組みを検討するとよいのではないか。
 - 2年生の段階で地元企業の魅力を伝える機会を設けることで、地域就職への関心を自然に高めることができると思われる。
- ・大学（教員・ゼミ・授業）との連携強化について
 - 初年次教育・キャリア教育の授業内に組み込むことで、参加率・マッチング率の向上が期待できる。
 - 必修インターンシップ授業を持つ大学とは、早期から地元企業との接点づくりを連携して進められるのでよいと思われる。
 - キャリアセンターと教員の間には壁があり、企業ニーズを教員に伝えることは困難ではあるが、コンソーシアムから産学連携ネタを提供してもらえらることは大学として有益である。
 - 募集、告知の時期等、授業・ゼミとの調整がしやすいスケジュールで進めることが重要である。

【IV. 連絡・調整事項】

1. 2026年度定時総会について

鈴木次長より、2026年度定時総会は、6月1日（月）15時00分～16時30分に開催される旨の説明があった。

2. 2026年度キャリア委員会の開催予定と主な議題について

鈴木次長より、2026年度キャリア委員会の年間5回の開催予定、第1回の事業計画と第4回の事業報告は対面もしくはオンラインでの開催予定、それ以外はメール審議（持ち回り）で実施予定との説明があった。

3. 「大学コンソーシアムひょうご神戸設立20周年記念式典・懇親会」について

鈴木次長より、設立20周年記念式典、11月頃開催予定について、昨年2月に実施したみなど銀行・丹波県民局等との情報交換会を周年事業の場で実施を検討中。詳細は理事会承認後に案内するとの説明があった。

以上をもって、2026年度第1回キャリア委員会は終了した。

以上